



11月23日(木)に行われた全国高等学校ラグビーフットボール大会熊本県予選決勝戦で、本校ラグビー部が5年ぶりの優勝を果たし、6年ぶりに花園へ(10回目の出場)の切符を手にしました。

1回戦は下記の日程で開催されます。皆さん応援よろしくお願ひいたします！！

**日時：12月28日(木)午前11時20分～**

**場所：東大阪花園ラグビー場 第二グラウンド**

# 西高新聞

題字

山口 彩夏 さん(日吉中出身 書道部 一年)

発行 熊本西高校総務部 第50号

# 12月号

## 特進クラス大学訪問

11月17日(金)、2学年特進クラス80名が北九州市立大学北方キャンパスを訪問しました。

魅力発信プロジェクト(学生プレゼン)を見たり、模擬講義を受けたり、コミュニケーションワークショップに参加したりしました。生徒は、「商店街を復興させるための策を考え、楽しかった。」

「世界中の問題についての模擬講義で、私たちの行動を考えさせられた。」「学食は安くて、そこそこ美味しかった。」などの感想を持ったようで、充実した1日を過ごしました。



## 中国から高校生が訪問

12月8日(金)に「JENESYS2017」中国高校生訪日団の26名の高校生が中国黒龍江省から本校を訪問。2年5組の生徒と英語や家庭科、書道、美術の授業を受け、放課後は本校生の案内のもと、部活動を見学してもらいました。生徒同士の交流は基本的に英語でしたが、ジェスチャーや筆談など、様々な方法で交流を深めることができました。また、本校の中国とゆかりのある生徒が通訳を務めたり、中国語で部活動を紹介するなど活躍。本校生にとっても貴重な国際交流体験になりました。



## 速報！3年生の進路状況

3年生の表情が眩しいほど美しい。12月12日(火)現在で熊本大学等の国公立大学に14名、難関大学として知られる早稲田大学に2名をはじめとして、多数の大学に合格している。年明けの一般入試も快進撃は続きそうだ。

### ～合格者の声～

理数科 西田 渚(飽田中)

【熊本大工学部物質生命化学科 合格】

理数科というハイレベルな環境の中で、勉学に励むことができました。西高は生徒と一緒に進路実現に向けて真剣に取り組んでくださる先生方や、互いに高め合うことのできる仲間がいる学校です。

普通科文系特進クラス 後藤 雅弥(三和中)

【熊本県立大総合管理学部総合管理学科 合格】

3年間特進クラスで勉強をしてきたからこそ合格できたのだと思います。雰囲気も良く団結力があるところがクラスの魅力です。先生方が生徒のことを1番に考えて丁寧な指導をしてくださったおかげで、自信をもって受験することができました。

## 理数科課題研究発表会



11月14日に第14回熊本県公立高等学校理数科研究発表会がありました。熊本西高をはじめ、第二高、大津高、熊本北高、東稟高の5校が日頃の課題研究の成果を発表しました。本校からは「プラナリアの再生条件」を発表し、優秀賞を受賞しました。今後も、さらに研究内容を深めて行く予定です。

中国黒龍江省から高校生26名が来校

12月8日（金）に中国黒龍江省から26名の高校生が本校を訪問しました。その際、中心的に交流をしてくれたのが、2年5組の生徒諸君でした。バスを迎え、会場に誘導し、授業をいっしょに受けて、部活動を案内するなど、様々な対応をしてくれました。歓迎会ではみな緊張していたものの、その次の5限目の英語の授業ではお互いに打ち解け、6限日の家庭科・美術・書道の授業ではお互いに協力しながらいきなり団子や作品作りに取り組みました。言葉も文化も違いますが、いっしょにいる生徒たちを見ていると、普通の1

あつ

## 熱ねティー

今回は安宅正継先生（数学科・教育相談部長）

藤川有希先生（養護教諭）をご紹介します。

○安宅先生はカウンセラー室、藤川先生は保健室におられます  
がそれぞれ、どんな相談が多いですか？

（安宅）数学の質問が多いですね。（^\_^）相談はそれぞれに違います。カウンセリングマインド、共感の気持ちで話を聞くようにしています。必要ならSC（スクールカウンセラー）に接続します。

（藤川）頭痛や腹痛での来室が多いですね。いろいろな考え方からくる不調もあるので、会話をしながら原因を探ります。

○特別支援教育コーデネーターとは？

（安宅）よりよい指導や特性に応じた支援ができるよう、実態の把握や校内体制づくりの推進役です。生徒や保護者はもちろんですが、生徒たちの出身中学校やSC（スクールカウンセラー）など、さまざまな方たちと連携します。チーム援助が大切なんですね。だから「『一緒に』懸命」を目標にしています。

○今の役割の中で、課題はなんですか？

（安宅）近年、生徒たちの悩みや問題は多様化しています。教育相談に求められる役割は多岐にわたっています。私自身の勉強不足が一番の課題でしょうか・・・。(>\_<)まずは校内の相談窓口・支援窓口として知ってもらうことですね。

（藤川）私たち養護教諭の接し方はもちろん大切ですが、生徒たち自身が自己管理できるようになる関わり方をすることが大切なのではないかと思っています。

○藤川先生、体育コース修学旅行（スキー）引率どうでした？

6歳、17歳の高校生であることがわかります。お互いの相違点に気づくと「へー！すごい！」と驚きの表情になり、共通点に気づくと「そうそう！わかるー！」と笑顔になる。半日しかありませんでしたが、生徒同士の距離はあっという間に縮まったようです。お別れ会では学級委員長の吉田さんが、「これを交流の始まりにしたい。」と挨拶。これからを担うこの子供たちは、それぞれの国の言語や文化の壁を超えて積極的に交流する。そんな時代が来る



と確信しました。

（藤川）はい、生徒たちの食欲にびっくりしました。39名で、毎食、150人分のお米を食べるんです！あと、担任の荒木先生はゲレンデの「貴公子」でした！私はゲレンデの「雪だるま」でした！(T\_T) みんなすごく上達しましたよ！

○最後に一言あればお願ひします。

（安宅）ソフトテニス部の顧問をしています。男女とも楽しく、熱心に活動していて、メキメキ上達しています。来年の活躍がすごく楽しみです！女子は2年生が5人だけです。新入部員がきてくれることを願っています。

（藤川）笑うこと。四股（しご）を踏むこと。健康にすごくいいです！不調の時は、笑って四股を踏んでみてください！課題は自分の勉強不足。その姿勢、自厳他寛。かっこよ過ぎ。笑いながら四股を踏む・・・。んー、おもしろ過ぎ。みんなを和ませてくれる熱ティーたち！ありがとう！



藤川先生（左）と安宅先生（右）

人は相手によって対応や話し方などを変えて生活しているという  
考えをもとに描きました。

赤池 真衣 作（花陵中出身 美術部 1年）

## 素部の作品集

ご愛読ありがとうございました。西高新聞も50号を迎えることが出来ました。今年度はこれで最後の号になりますが、来年度も更にパワーアップして西高新聞をお届けします。今後とも西高をよろしくお願いします。（編集担当責任者より）